



# BARCODE

## 取扱説明書



Milk PS/10



C&S/11

このたびは、ファエマバーコードをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
特に“安全上のご注意”はご使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



## 株式会社 マグナ

# もくじ




安全上のご注意	1
<b>I. マシンの接続</b>	
給排水の接続	3
電源の接続	3
<b>II. 立ち上げと初期調整</b>	
マシン各部の名称	4
操作ボタン名称	4
マシンの立ち上げ	5
<b>III. 飲料抽出</b>	
コーヒー抽出	7
カプチーノ抽出	7
給湯およびスチーム	8
<b>IV. クリーニング</b>	
ミルクライン洗浄	9
コーヒーライン洗浄	10
パウダー部洗浄	10
各部の洗浄	12
<b>V. プログラミング</b>	13
<b>VI. エラーメッセージ</b>	17
<b>VII. トラブルシューティング</b>	18
<b>VIII. マシンの仕様</b>	19













# 安全上のご注意







- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。









 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う危険が予想される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

## 図記号の意味

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	このような絵表示は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。

 <b>警告</b>	
	<b>開梱、据え付け、移動は専門技術者に依頼する</b> 不完全な据え付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。
	<b>床が丈夫で水平なところに確実に据え付ける</b> 製品質量に十分耐えられる丈夫で水平なカウンターやテーブルに据え付けてください。 不完全な据え付けは転倒や落下によるけがの恐れがあります。
	<b>屋外据え付け禁止</b> 屋外で使用しないでください。漏電、感電の原因になります。
	<b>水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けない</b> 漏電により感電や火災の原因となります。
	<b>分解禁止</b> 修理技術者、専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。異常動作をしてケガをしたり、感電、火災の原因になります。
	<b>製品の上に乗らない</b> 転倒・落下によりケガや破損の原因になります。
	<b>可燃性スプレーを近くで扱わない</b> シンナーなどの可燃物や可燃性スプレーなどを製品の近くで使用しないでください。電気接点のスパークで爆発や火災の恐れがあります。
	<b>製品に水をかけない</b> 製品に直接水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因になります。
	<b>異常時には電源プラグを抜く</b> 異常時には電源プラグを抜くか、元電源を切って運転を停止してください。異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。
	<b>専用コンセントの使用</b> 電源は専用コンセントを使用してください。電源コードを途中で接続したり延長コードの使用やタコ足配線をすると、感電や発熱・火災の原因になります。
	<b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

	<b>濡れた手で電源プラグに触らない</b> 濡れた手で電源プラグ等の電気部品には触れないでください。また、スイッチの操作をしないでください。感電の原因になります。
	<b>電源プラグを持って抜く</b> 電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して感電や発熱・火災の原因になります。
	<b>漏電遮断器をつける</b> 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
	<b>漏電遮断器が作動したとき</b> 漏電遮断器が作動したときは、販売店または専門技術者にご相談ください。無理な電源復帰を行うと感電・火災の原因になります。
	<b>移設</b> 移設は販売店または専門技術者にご相談ください。据え付けに不備があると水漏れ、感電・火災の原因になります。
	<b>廃棄</b> 廃棄は販売店または専門技術者に依頼してください。放置による環境汚染や事故発生の原因になります。

 <b>注意</b>	
	<b>発熱器具を近づけない</b> 故障や電源コードの被覆が溶けることにより火災・感電の原因になります。
	<b>電源プラグは定期的に点検する</b> 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
	<b>動作部に触れない</b> 内部やポンプの動作部に触れないでください。ケガの原因になります。
	<b>高温部に触らない</b> ブリューグループ等の高温部に触らないでください。火傷の原因になります。
	<b>抽出中は近くに手を入れない</b> 抽出口より熱湯や蒸気が出ますので抽出が終わるまで手を入れないでください。火傷の原因になります。
	<b>長期間使わないとき</b> 長期間ご使用にならないときは、必ず排水し電源プラグをコンセントから抜いてください。飲料の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因となります。
	<b>幼児の手の届く所に据え付けない</b> 幼児の手の届く所に据え付けないでください。ケガの原因になります。

# I. マシンの接続



## 警告

設置工事は専門技術者がおこなってください。

マシンの設置はこの説明書に従って確実におこなってください。

(不完全な設置は火災や感電、転倒、故障の原因になります。)

## 給排水の接続

1. 給水元栓から浄軟水器 IN側へフレキホース等を接続して下さい。  
※ 給水元栓の水圧が5bar(約5.1kg/cm<sup>2</sup>)を超えている場合は、減圧弁を使用してください。
2. 浄軟水器OUT側にフレキホース等を接続し、排水へ3分間程度水を出し続けて下さい。
3. その後、浄軟水器OUT側とマシンのボイラー給水口をフレキホース等で接続して下さい。
4. 排水ホースをつなぎ、排水管に落とし込んで下さい。

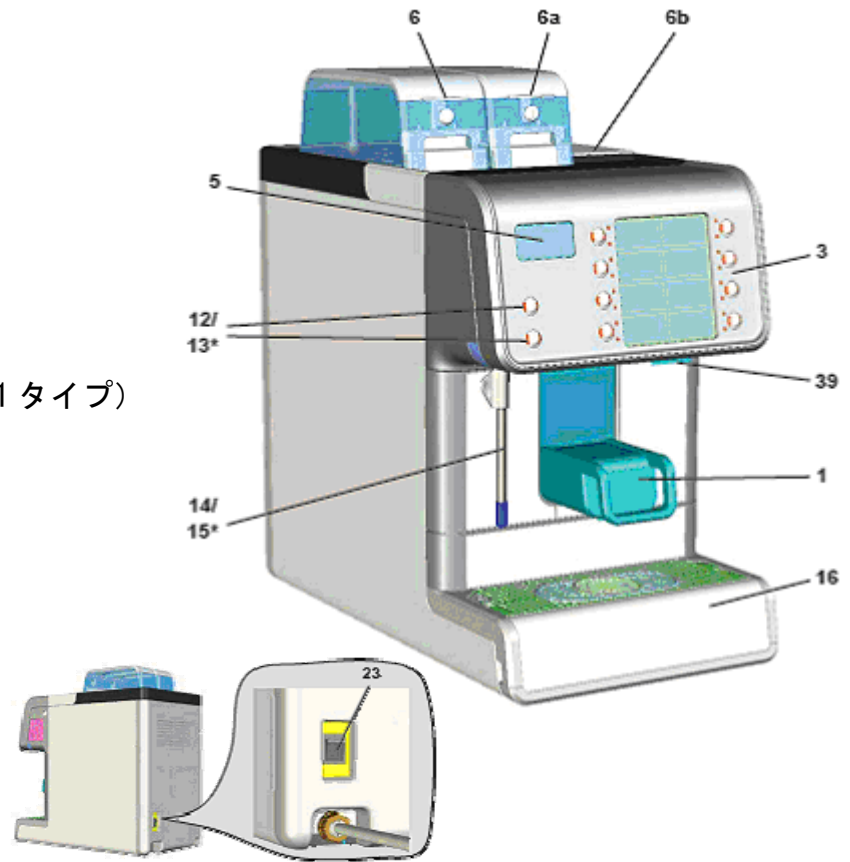
## 電源の接続

1. 事前に接続するコンセントが、マシンの電気仕様に合っていることを確認して下さい。
2. 電源ケーブルを電気仕様に合ったプラグに接続し、プラグをコンセントに差し込んで下さい。  
※ 必ずアースを接続してください。

## Ⅱ. 立ち上げと初期調整

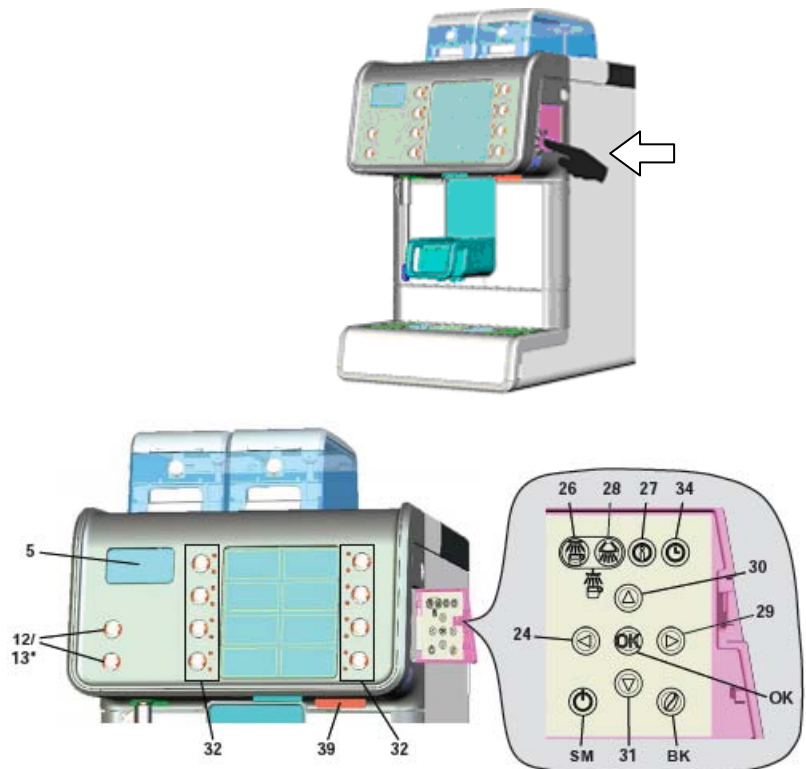
### マシン各部の名称

- 1 抽出口
- 3 メニューボタン
- 5 ディスプレイ
- 6 ホッパー 1
- 6a ホッパー 2
- 6b パウダーホッパー (C&S/11 タイプ)
- 12 給湯ボタン
- 13 スチームボタン
- 14 給湯ノズル
- 15 スチームノズル
- 16 排水トレイ



### 操作ボタン名称

- 24 リターンキー
- 26 コーヒーライン洗浄ボタン
- 27 情報ボタン
- 28 ミルクライン洗浄ボタン
- 29 プログラムキー
- 30 “+”キー(△)
- 31 “-”キー(▽)
- 32 メニューボタン
- 34 パラメーターボタン
- BK コーヒー豆キー
- OK “OK”キー
- SM スリープモードキー

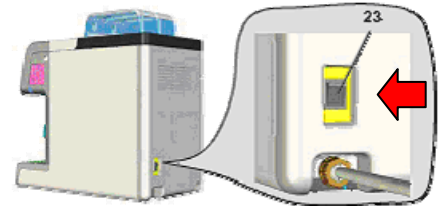


## マシンの立ち上げ

### ⚠ 注意

マシンを立ち上げる前に、給水、排水、電源の接続が完全に終了していることを確認してください。

1. 給水元栓を開いて下さい。
2. 排水トレイを取り外して図の主電源スイッチ右側を押して電源を入れます。(排水トレイは元に戻す)



3. ディスプレイには以下のように表示されます。















4. 自動的に給水が行われ、抽出可能になると以下のように表示されます。



※自動ON・OFFの設定を行っている場合には自動的にウォーミングアップを行います。設定については「プログラム設定について」を参照してください。

## 各アイコンの説明

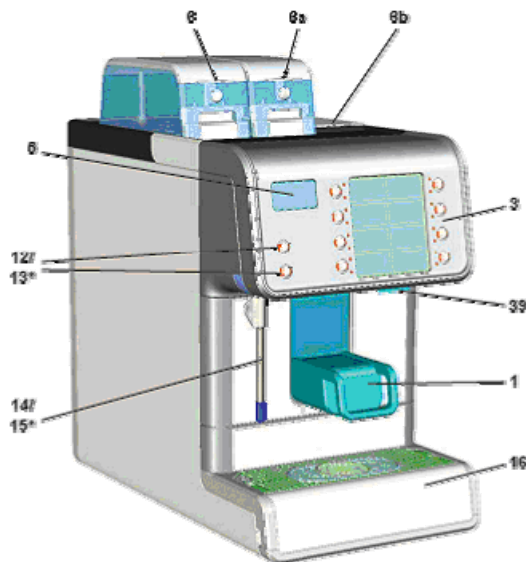
	ボイラー水のレベルを表示。給水時には、アイコンの下側黒い部分が点滅します。
	ボイラー水が適切なレベルに達した時。
	サービス・ボイラー、コーヒーボイラーが作動し、稼働している時。
	サービス・ボイラーが設定圧力に達し、コーヒーボイラーが設定温度に達した時。
	マシン稼働時は、左記 2 つのアイコンが交互に表示されます。
	ボイラー圧力値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- マシンが最初の加熱段階の時</li> <li>- ボイラー圧力が 0.5 バール以下になった時</li> <li>- ボイラー温度が 60 度以下になった時</li> </ul> <p>注意: サービス・ボイラーとコーヒーボイラーが稼働パラメーターに達していない時に、何かキーを押した場合には、「マシンコールドタイキ オマチクダサイ」のメッセージが表示され、 と  が交互に表示されます。</p> <p>機械が設定稼働圧力と温度に達したら、 がディスプレイから消えます。</p>
	コーヒーボイラー温度
	プログラムモードに入っている事を示しています。テクニカル・プログラミング・メニューにアクセス出来ます。



## Ⅲ. 飲料抽出

### コーヒー抽出

1. 抽出口(1)の下にカップを置いてください。  
(必要に応じて抽出口の高さを調整してください)
2. 所望のメニューキー(3)を押してください。  
メニューキーのランプが点灯し、抽出が始まります。
3. 抽出が完了したら自動的に停止します。
4. 抽出完了までに“OK”キーを押すことで抽出を  
中断することができます。



### カプチーノ抽出

1. ミルクチューブをミルククーラー内のミルクに挿入  
してください。
2. 抽出口(1)の下にカップを置いてください。  
(必要に応じて抽出口の高さを調整してください)
3. 所望のメニューキー(3)を押してください。  
メニューキーのランプが点灯し、抽出が始まります。
4. 抽出が完了したら自動的に停止します。
5. 抽出完了までに“OK”キーを押すことで抽出を  
中断することができます。

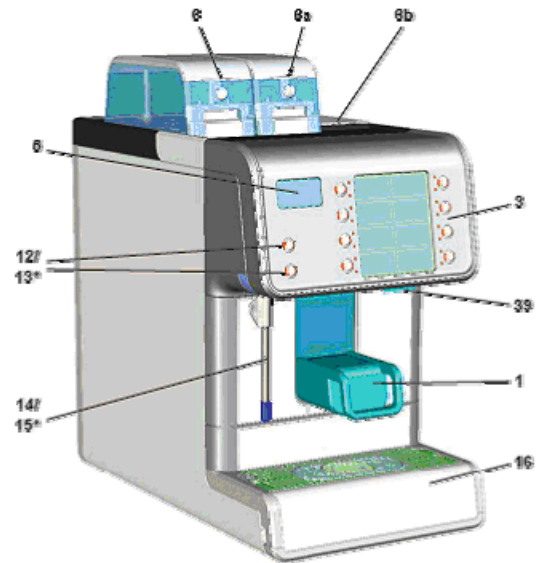
## 給湯およびスチーム

### ●給湯仕様の場合

1. 給湯ノズル(14)の下にカップを置いてください。
2. 給湯ボタン(12)を押してください。  
抽出が始まります。
3. 設定量まで出したら自動的に停止します。
4. 完了までにもう一度給湯ボタン(12)を押すことで抽出を中断することができます。

### ●スチーム仕様の場合

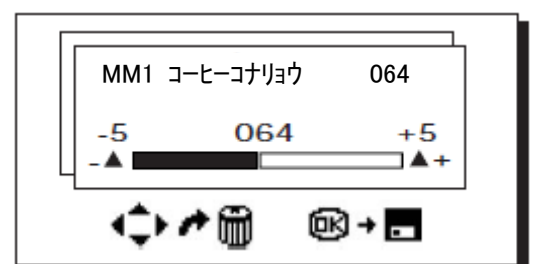
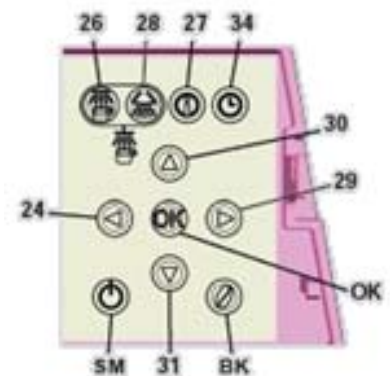
1. 加熱したい飲料を入れた容器をスチームノズル(15)に入れてください。
2. スチームボタン(13)を押してスチームを出します。
3. 必要な温度に上がるまで待ちます。
4. 温度が達したらスチームボタンを再度押して止めます。



## 豆量の調整

コーヒー粉量の調整が簡単に行うことができます。

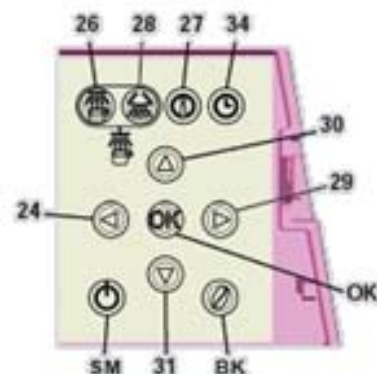
1. コーヒー豆キー(BK)を押してください。  
(押しても反応しない場合は設定でブロックされています)
2. 調整したいメニューのキーを押してください。
3. “+”キー(30)または“-”キー(31)で調整してください。プログラムされている値から±5の範囲で調整可能です。
4. 変更が完了したら“OK”キーで確定します。  
変更せずそのまま終了するにはリターンキー(24)を押します。




## IV. クリーニング

### ミルクライン洗浄


1. ミルクライン洗浄ボタン(28)を長押しします。
2. ディスプレイに「エコジェットサンノ・・・」と表示されます。
3. ミルクタンクからミルクチューブを外し、ミルクタンクを取り外します。
4. メジャーカップに液体洗剤 50ml と水 500ml を入れ、ミルクチューブを差します。
5. ミルクライン洗浄ボタン(28)を長押しすると「センジョウチュウデス」と表示され洗浄を開始します。(約1分間)
4. ディスプレイに「ヨウキヲススギアライ・・・」と表示されたら、メジャーカップをすすいでから水を500ml 入れミルクチューブを差します。
5. ミルクライン洗浄ボタン(28)を再度押すと「センジョウチュウデス」と表示されすすぎが始まります。
6. 約1分間すすぎが行われ終了するとディスプレイに「センジョウガシュウリョウシマシタ・・・」と表示されますので、任意のボタンを押して完了してください。



エコジェットサンノキシャクエキガ  
ハイッタヨウキニミルクチューブノ  
センタンヲイレテクダサイ

ジュンビガデキマシタラ  
オシテクダサイ (  )

ヨウキヲススギアライシテクダサイ  
キレイナミズヲイレタヨウキニ  
ミルクチューブノセンタンヲ  
イレテクダサイ

ジュンビガデキマシタラ  
オシテクダサイ (  )

センジョウガシュウリョウシマシタ  
ツウジョウガメンニモドルニハ  
ニンイノボタンヲオシテクダサイ

## コーヒーライン洗淨

1. コーヒーライン洗淨ボタン(26)を長押しします。
2. 「センジョウヲカイシシマス」と表示されますので、コーヒーライン洗淨ボタンをもう一度押しします。
3. 「センジョウチュウデス」と表示され洗淨が行われます。
4. 約1分間洗淨が行われ終了するとディスプレイに「センジョウガシュウリョウシマシタツウジョウガメンニモデルニハニンイノボタンヲオシテクダサイ」と表示されますので、任意のボタンを押して完了してください。

センジョウヲカイシシマス

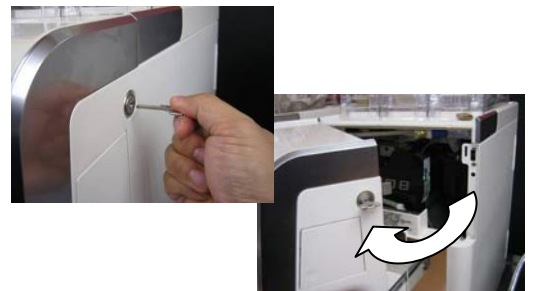
オシテクダサイ (☺)

センジョウガシュウリョウシマシタ  
ツウジョウガメンニモデルニハ  
ニンイノボタンヲオシテクダサイ

## パウダー一部洗淨

(C&S/11のみ)

1. キーを挿入しロックを解除して、上部パネルを開きます。
2. ミキシングボウル部のパウダーファンネル部を上へ抜いて外します。
3. ホースを抜きます。
4. ミキシングボウルのロックレバーを右から左へ回して解除します。



5. ミキシングボウルとパウダーカス受けを取り外します。



6. 取り外した4種の部品を中性洗剤でブラシ洗浄します。



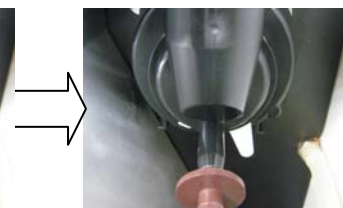
7. パウダーカス受けを戻し、ホースジョイントを取り付けます。



8. パウダー湯投入口をミキシングボウルの穴に入れながらミキシングボウルをセットします。



9. ミキシングボウルのロックレバーを左から右へ回して確実にロックします。



10. ホースを奥まで差込み、パウダーファンネルをセットします。



11. 全ての部品が元通りに取り付けられていることを確認してください。



12. パネルを閉じ、キーでロックします。



13. コーヒーライン洗浄ボタン(26)とミルクライン洗浄ボタン(28)を同時に長押しします。

14. 「CHOCOLATE WASHING」と表示され洗浄が行われます。

15. 約1分間洗浄が行われ終了すると自動的に完了します。



## 各部の洗浄

- ・スチームノズル  
スチームノズル(14)を排水トレイ(16)に向けてスチームを一度出します。その後、濡れたダスターなどでミルク等の汚れをふき取ってください。
- ・排水トレイ  
トレイを外して洗ってください。研磨剤で磨いたり食器洗浄機を用いないでください。
- ・カス受け  
カス受けを引き抜きます。  
たまっているカスを捨て、中をきれいにすすぎます。  
周囲をダスター等できれいにふき取り、カスを取り除きます。  
カス受けをもとに戻します。
- ・外装  
やわらかい布でマシンの外側をきれいにふき取ってください。洗剤をお使いになる場合には、すき間などからマシン内部に液体が入り込まないように注意してください。

**注意！ スチームや熱湯を出すときにはやけどに注意すること**

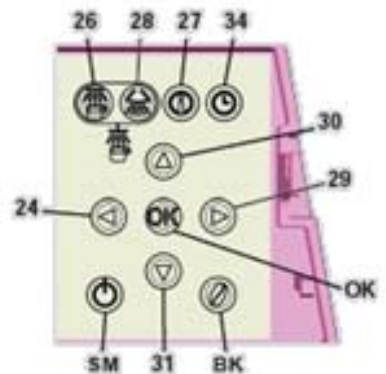
# V. プログラミング

## ● 日付時刻

“+”キー(30)と“-”キー(31)を使って時刻調整を行います。

1回押すごとに1分刻みで増減します。

10秒間長押しすることで“分”の設定から“時間”の設定へ移ります。



## ● カウンターとリセット

情報ボタン(27)を押すことで、各種出杯数が確認できます。

プログラムキー(29)と“+”キー(30)(もしくは“-”キー(31))の2つを同時に押すことで杯数リセットすることが出来ます。

## ● ユーザープログラムへの入り方

プログラムキー(29)を押してください。

各メニューのボタンを押して個々の設定を行います。

リターンキー(24)を押すことでユーザープログラムから抽出可能状態へ戻ります。

(プログラムキーを押しても反応しない場合は、設定でブロックされています)



## ● キーメニュー コーヒー

レンゾクチュウシュツ: 1回のボタンで行う抽出回数(99まで)

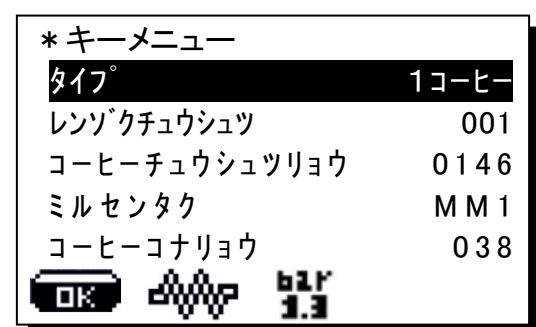
コーヒーチュウシュツリョウ: コーヒーの抽出量  
0から200までのパルス値

ミルクセンタク: ミルク左右の選択

コーヒーコナリョウ: コーヒー粉の使用量  
0から200までのパルス値

ネットウスタート: お湯を抽出の前後に足すかを選択

アトウォーター: アメリカン湯の量  
0から999までのパルス値



● キーメニュー カプチーノ

レンゾクチュウシュツ: 1回のボタンで行う抽出回数(99まで)  
 ミルクチュウシュツリョウ: ホットミルクの抽出量  
 0から60秒まで0.1秒刻み  
 ミルクアワダチ: フォームミルクの抽出量  
 0から60秒まで0.1秒刻み  
 コールドミルクリョウ: ミルクの抽出量  
 0から20秒まで0.1秒刻み

コーヒーチュウシュツリョウ: コーヒーの抽出量  
 0から200までのパルス値  
 ミルセンタク: ミル左右の選択  
 コーヒーコナリョウ: コーヒー粉の使用量  
 0から200までのパルス値  
 ネットウスタート: アメリカン湯の投入順序  
 アドウォーター: アメリカン湯の量  
 0から999までのパルス値

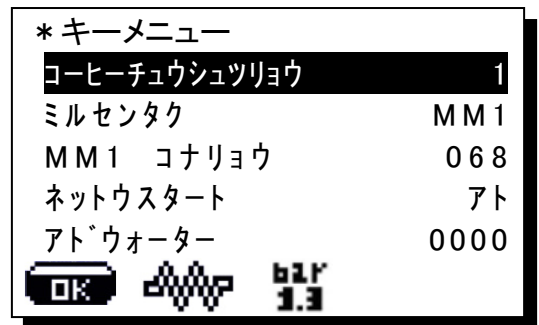
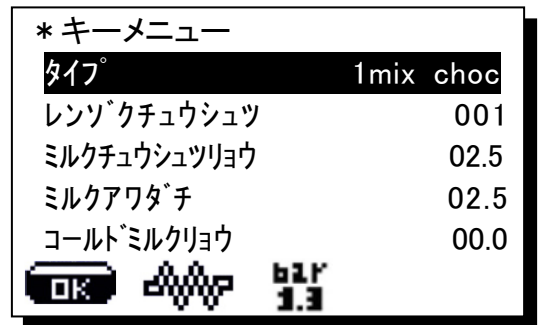
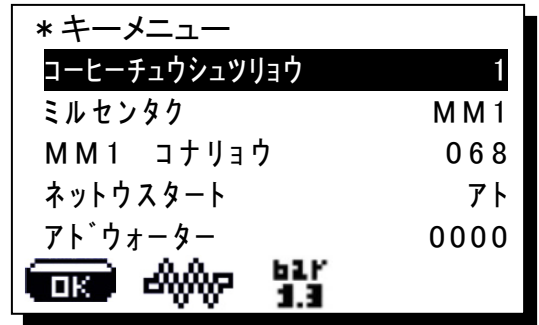
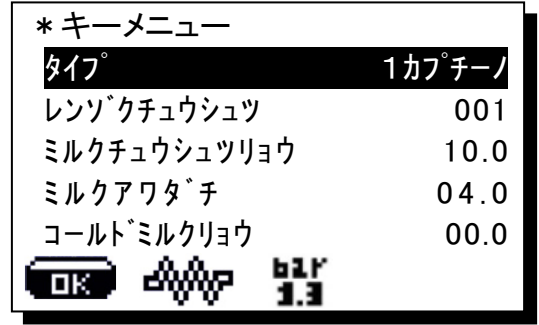
● キーメニュー パウダー

レンゾクチュウシュツ: 1回のボタンで行う抽出回数(99まで)

● キーメニュー パウダーミックス

レンゾクチュウシュツ: 1回のボタンで行う抽出回数(99まで)  
 ミルクチュウシュツリョウ: ホットミルクの抽出量  
 0から60秒まで0.1秒刻み  
 ミルクアワダチ: フォームミルクの抽出量  
 0から60秒まで0.1秒刻み  
 コールドミルクリョウ: ミルクの抽出量  
 0から20秒まで0.1秒刻み

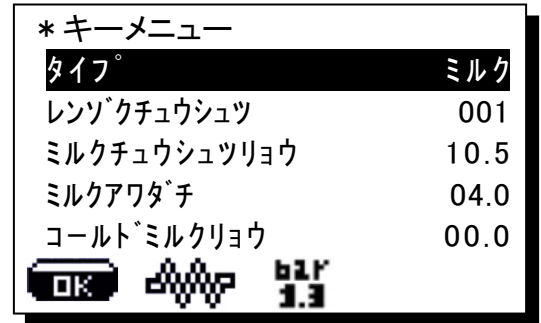
コーヒーチュウシュツリョウ: コーヒーの抽出量  
 0から200までのパルス値  
 ミルセンタク: ミル左右の選択  
 コーヒーコナリョウ: コーヒー粉の使用量  
 0から200までのパルス値  
 ネットウスタート: アメリカン湯の投入順序  
 アドウォーター: アメリカン湯の量  
 0から999までのパルス値





● キーメニュー ミルク

レンゾクチュウシュツ.: 1回のボタンで行う抽出回数(99まで)  
 ミルクチュウシュツリョウ: ホットミルクの抽出量  
 0から60秒まで0.1秒刻み  
 ミルクアワダチ: フォームミルクの抽出量  
 0から60秒まで0.1秒刻み  
 コールドミルクリョウ: コールドミルクの抽出量  
 0から20秒まで0.1秒刻み



● キーメニュー 給湯

チュウシュツジカン: 熱湯の抽出量  
 0から60秒まで0.1秒刻み



● キーメニュー スチーム

ミルクアワダチ: 泡立ちのレベル  
 001から004まで1刻み



● ミル調整

ミル調整を行うときは購入した販売店またはコールセンターまでご相談ください。

● サービスタイム

パラメーターボタン(34)を押して時刻設定や自動 ON、OFF などを設定できます。

ジドウON 本体の電源が自動的にONになり、ウォーミングアップする時刻を設定します。

ジドウOFF 本体の電源が自動的にOFFになる時刻を設定します。

テイクユビ 定休日を設定します。設定した曜日は自動ON・OFFタイマーは機能しません。

ヨルジカンON 使用しません。

ヨルジカンOFF 使用しません。

センジョウ1 コーヒーライン自動洗浄とミルクライン自動洗浄を実施する時刻を設定します。1日の終業時に行う洗浄です。

センジョウ2～5 営業中に洗浄を行う時刻を設定し、アラーム音とディスプレイ表示でお知らせします。



● 言語設定

パラメーターボタン(34)を押してディスプレイの表示言語を選択することができます。“+”キー(30)と“-”キー(31)で言語を選択し、OKキーを押して決定します。

選択言語は、イタリア語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、日本語、ロシア語から可能です。



## VI. エラーメッセージ

表示内容	原因	対策
マシンコートタイキ	1. このメッセージは下記の場合に、抽出キーを押した後、ディスプレイに表示されます。 - サービスボイラーの圧力が、予め設定された稼働圧力値よりも低い場合 - ボイラー温度が 60 度以下の場合 2. サービス・ボイラーかコーヒーボイラーが、部品不良のために、上記圧力又は温度以下になった場合には、エラーメッセージが表示され、どの部品に問題があるかを表示します。	1. 表示が消えるまでおまちください。 稼働圧力と温度が左記以上になった場合には、メッセージは自動的に消えます。 2. コールセンターにご連絡ください。
コーヒーボイラーチェックウ	このメッセージは、機械のスイッチが入り、コーヒーボイラーの給水状況確認時に表示されます。	
カスレガマンパイデス	このメッセージは、コーヒーカス入れが満杯になっている事を示していますが、あとシングル 10 杯 (ダブル 5 杯) を抽出出来ます。その後、機械がブロックされ下記メッセージが表示されます。	カウンターをリセットするため、カス入れの中身を捨てるか、「カスリステクダサイ」のメッセージが出るまで待つて下さい。
カスリステクダサイ	機械は最初に設定された杯数からカウントダウンします。このメッセージはその杯数に達した事を示しています。機械がブロックされ、これ以上ドリンクを抽出できません。	カス入れを取外し、中のコーヒーカスを捨てる。容器を元の位置に戻す。パネルを閉じる。この間、ディスプレイには、「カスリリセットシテクダサイ」と表示されます。
カスリリセットシテクダサイ	このメッセージは、カス入れの背面が正しい位置になっていない場合に表示されます。	カス入れが挿入されているのにもかかわらずこのメッセージが表示される場合には、カス入れが正しい位置になっているかを確認して下さい。
Tray extracted	このメッセージは、カス入れが正しい位置になっていない場合に常に表示されます。	カス入れが正しい位置に挿入されているかを確認して下さい。
ボイラーキウスイチュウ	このメッセージは、ボイラー給水時に表示されます。	このメッセージは、給水時に自動的に表示され、ユーザーは何もする必要がありません。
Service needed	このメッセージは定期メンテナンスが必要な時に表示されます。メッセージを消したい場合には、リターンキー(19)を 8 秒間押してください。このメッセージは、メインスイッチと共に連続して再度点灯します。	コールセンターにご連絡ください。このメッセージは、メンテナンスが行われな限り消えません。
Softener	このメッセージは、ソフナー樹脂の再生が必要な時に表示されます。(ソフナーメンテナンスの項をご覧ください。)	再生が完了しましたら、リターンキー(19)を 8 秒間押して、メッセージをキャンセルしてください。
マシンオフ	このメッセージは、電源 ON/OFF がプログラムされた場合に表示されます。電源がオフになり、待機モードになっている事を示しています。	プログラミングの仕方については、テクニカルマニュアルをご覧ください。OK キーを数秒押して、機械を ON にして下さい。
Blocked key	通常使用時に、時にスイッチが機械的にブロックされた状態になる事があります。スイッチが 1 分間以上ブロックされ、反応しない場合に、このメッセージが表示されます。 註: ブロックされたキー以外の全キーは、通常通り機能します。	問題を解決するには、キーパッドのブロックされているキーを特定して下さい。その後修正してください。
Messages about washings		本マニュアルの「クリーニング」をご覧ください。

## VII. トラブルシューティング

症状	原因	対策
コーヒーマシンが動かず、ディスプレイがオフになっている	電気が供給されていない	電気が供給されているかを確認して下さい。 メインスイッチの位置を確認して下さい。
水がカップウォーマートレーから漏れている。	水受け穴が詰まっている。	洗浄して下さい。
コーヒーが出ない	1.豆不足 2.コーヒーライン詰まり	1.ホッパーシャッターが開いていることを確認してください。 豆を補充してください。 2.コーヒーライン洗浄を行ってください。
コーヒー抽出時間が短い	1.コーヒーが不足している 2.コーヒーが古い 3.コーヒーが粗すぎる	1. プログラムモードからコーヒー量を増やして下さい。 2.新しいコーヒー豆を使用して下さい。 3.コーヒー豆の挽き方を細かくして下さい。
機械からコーヒーが垂れてくる。	1.コーヒー豆が多すぎる。 2.コーヒー豆の挽き方が細かすぎる。	1.プログラムモードからコーヒー量を減らして下さい。 2.コーヒー豆の挽き方を粗くして下さい。
機械の下から多量の水が漏れる	排水栓が詰まっている。 排水受が詰まっている。	洗浄して下さい。
機械は温まっているが、コーヒーが抽出できない。	給水栓又は軟水栓が閉まっている。 給水されていない	栓を開いてください。 給水されるまで待つか水道工事業者を呼んで下さい。
ミルクが出ない	1.ミルク不足 2.ミルクチューブの折れ曲がり	1.ミルクを補充してください 2.ミルクチューブの折れ曲がりを直してください。
ミルクの温度、量、泡立ちが違う	1.使用ミルク温度 2.ミルクチューブ詰まり 3.ミルクチューブの折れ曲がり	1.約 5°Cのミルクを使用してください。 2.ミルクライン洗浄を行ってください。 3.ミルクチューブの折れ曲がりを直してください。
エラー表示(「E052」など)が出ている	マシン内部エラー	エラー表示内容を記録したうえですみやかに電源を切り、コールセンターにご連絡ください。

## VIII. マシンの仕様

品名	全自動エスプレッソマシン	
型式	FAEMA バーコード	
寸法	幅 350mm 奥行 610mm 高さ 760mm	
質量	62kg	
電源	AC200V 50/60Hz	AC100V 50/60Hz
消費電力	3100W	1500W
ホッパー容量	コーヒー0.6kg x 2、(パウダー0.6kg x 1)	

# 株式会社 マグナ

〒108-0023 東京都港区芝浦2-13-8

